

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑥上下水道	③	上水道事業の健全経営の推進

事業名	検針・料金収納業務	担当課名	水道課
-----	-----------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市水道事業が水道需要者から使用量に応じて水道料金徴収をおこなう、検針・収納業務を委託することで、人件費等の経費削減を図り水道事業の経営健全に寄与する。

(事業概要等)

営業区域内に給水しているすべての家庭・事業所・施設の水道メーターの検針、計量法による水道メーターの定期交換、水道料金の徴収、給水停止及び解除、窓口受付、開閉栓その他関連業務

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	73,953	79,596	79,596	79,892	3年度検針・料金収納 委託業者長期継続契 約更新締結
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
調定収納率 (次年度、5月末時点で算出)	%	99.15	99.23	99.22	99.30

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

水道料金の調定収納率を安定に保つことにより、水道事業の経営健全に寄与した。

### 【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	常習的な未納者に対しては、催促に係るお知らせ等のタイミングの見直しをおこなった。
----------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	検針・料金収納の業務委託(R6～R8の3年間)について、近隣2市との合同選考をおこなうにあたり、大阪広域水道企業団に統合予定の自治体とは調整等が必要となる。
---------------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ・調定収納率は、委託業者との契約収納率を上回り、99%以上の高位で安定推移している。
改革・改善 策等の具体 的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	水道施設維持管理事業	担当課名	水道課
-----	------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	安全・安心な水道水の安定供給
(事業概要等)	配水場等の配水施設(配水管を除く。)の運転管理 配水場等の配水施設(配水管を除く。)の電気、機械設備等の保守点検及び補修

### 【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	93,125	137,796	132,167	151,098	5年度配水池6池清掃、劣化診断等予定
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
年間総需要量	千 $m^3$	8,358	8,233	8,211	8,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
効率的な施設の運用及び機器の点検等を行い、安全・安心な水道水の安定供給ができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	令和4年度に中央配水場の照明を一部LED化することで、電気使用量の削減を図った。
----------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	配水施設の維持、効率的な水運用及び委託業者を指導・監督する上で技術面の継承が問題である。
---------------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民に安全・安心な水道水を安定供給するための事業を継承する。 水道法により、水道施設の基盤強化及び良好な維持・管理が義務
改革・改善 策等の具体的 内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	水道情報管理システム整備事業	担当課名	水道課
-----	----------------	------	-----

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

紙媒体で保存していた給水台帳をシステムで保存することで、速やかな検索及び保管場所の縮小を行うことにより、窓口業務の効率化、事業対象者へのサービス向上及び事務環境の改善を図る。

(事業概要等)

給配水管及び台帳システムの整備・保守、データ更新、機器のリース管理等

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,362	3,651	8,898	6,300	4年度は2か年分相当、5年度以降は1.5か年分相当を更新処理
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
水道情報管理システム整備進捗率	%	100	100	100	100
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

迅速でより正確な情報を効率的に提供できた。  
配水管情報をシステム化することにより、漏水箇所の配管状況の確認を速やかに行うことができる等、迅速な対応を図ることができた。

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	・給水台帳の整理(令和4年度末36,797戸) ・令和4年度以降、配水管更新分のシステム反映を当年度中に行うようにし、迅速な現状分析及び情報提供を図っている。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	古い年代の施工管には詳細な情報が残っていないものがあるため、漏水修理時等に得られた情報を随時追加させていく必要がある。 配水管・給水引込管の新設等により、継続して整備していく必要がある。
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) データ化を一層進め、情報修正を継続し、システムの迅速化及び正確性を図る必要がある。 水道法により、令和4年10月1日から台帳整備が義務となったが、すでにこの水道事業管理システムで対応済みである。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給
事業名	配水管維持事業		担当課名	水道課

### 【事業の概要】

<p>(事業の目的・趣旨)</p> <p>漏水等による無駄な資源の流出を防ぎ、水道水の安定供給を行う。</p>
<p>(事業概要等)</p> <p>毎年度全戸対象に行っている漏水調査や、市民等からの通報により、漏水箇所を修理し有収率の向上を図る。</p>

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	79,187	76,756	77,207	80,371	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
漏水修理件数	件	267	220	232	262
漏水修理により防いだ推定損失額	千円	38,372	79,759	26,187	54,070
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和4年度は232件の漏水を発見し、26,187千円の漏水損失を抑えた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	新しい漏水修理技術の情報を収集し、本市への採用を検討することにより、より正確かつ早期の漏水発見を図っている。
----------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	漏水修理時に時折発生する断水及び濁り水への対応が難しい。 緊急修理時の通行制限や振動・騒音等について、短時間で近隣に周知することが難しい。
---------------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	<p style="text-align: center;">(左記評価の理由)</p> <p><b>A 現行どおり</b> 漏水抑制のため配水管整備事業を進める必要があるが、耐用年数を経過した老朽管が順次発生するため、漏水の早期発見・早期施工で対応する必要がある。 水道法により、水道施設の良好な維持・修繕が義務とされており、今後も推し進めなければならない。</p>
改革・改善 策等の具体 的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	配水管整備事業	担当課名	水道課
-----	---------	------	-----

### 【事業の概要】

<p>(事業の目的・趣旨)</p> <p>地震等の災害に強い水道施設の構築、安全・安心な水道水の安定供給</p>
<p>(事業概要等)</p> <p>耐震幹線ループの整備、重要路線の耐震化及び老朽管の更新</p>

### 【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	302,234	642,406	765,523	1,069,631	R5年度配水管布設 替工事約3.7km予 定
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
耐震化率(耐震幹線ループ、重要路線)	%	61.2	65.7	73.2	80.3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要) 配水管整備計画に基づき、耐震化率の向上を図る。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	更新期間を60年に設定することにより、経年管(60年経過管)になる前に更新している。大阪市水道局から水道工事施工設計・施工管理の技術支援を受けている。
------------	---

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	水需要が減少していく中で、現在の配水管口径の見直しを適時行うことにより、効率的で経済的な管更新を行う必要がある。ベテラン職員の退職や職員数の減少等による技術面の継承が問題である。高度成長期に整備された水道管が一斉に老朽化しており、管更新を一定のペースで進めていくための費用及び人員体制が必要である。
-----------------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 整備計画に遅れが生じていることに加え、難工事であることからの未整備箇所及び整備計画で未対象箇所の老朽管更新を進めていく必要があることから、更に体制を整えていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		